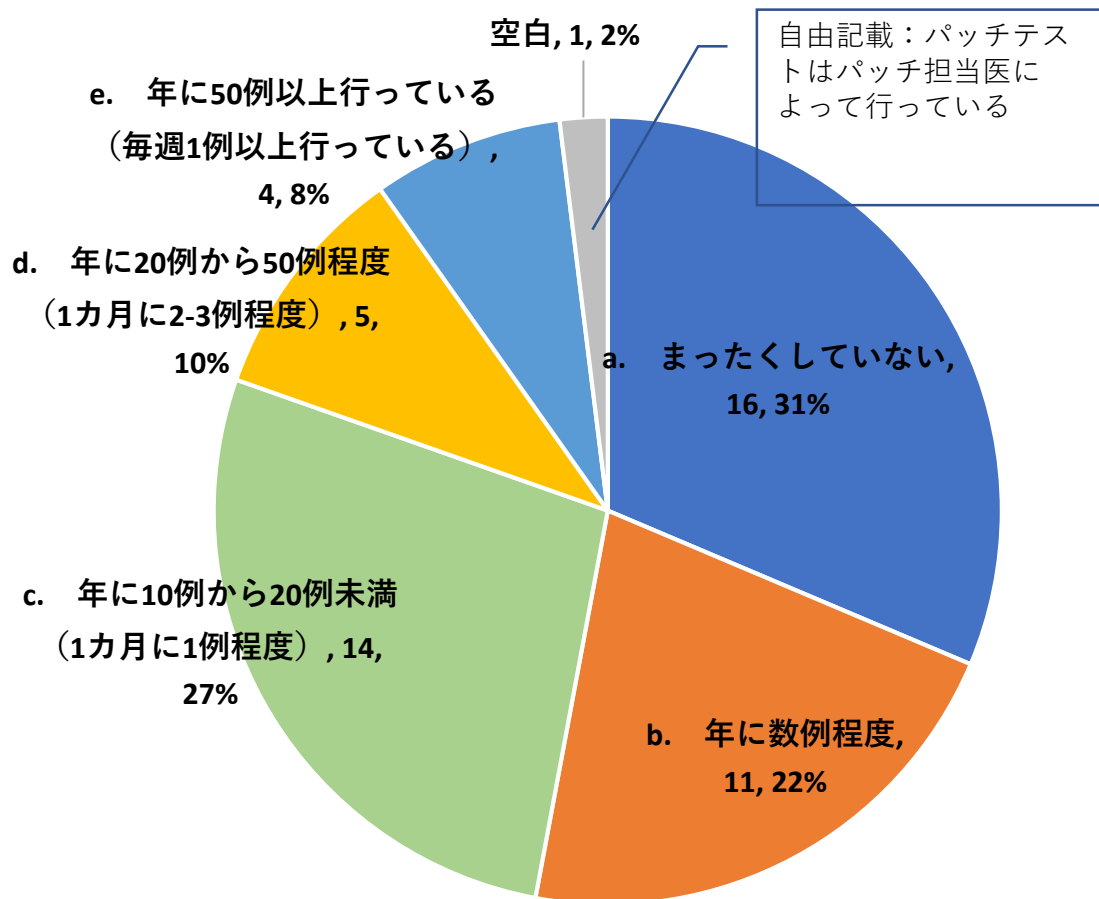


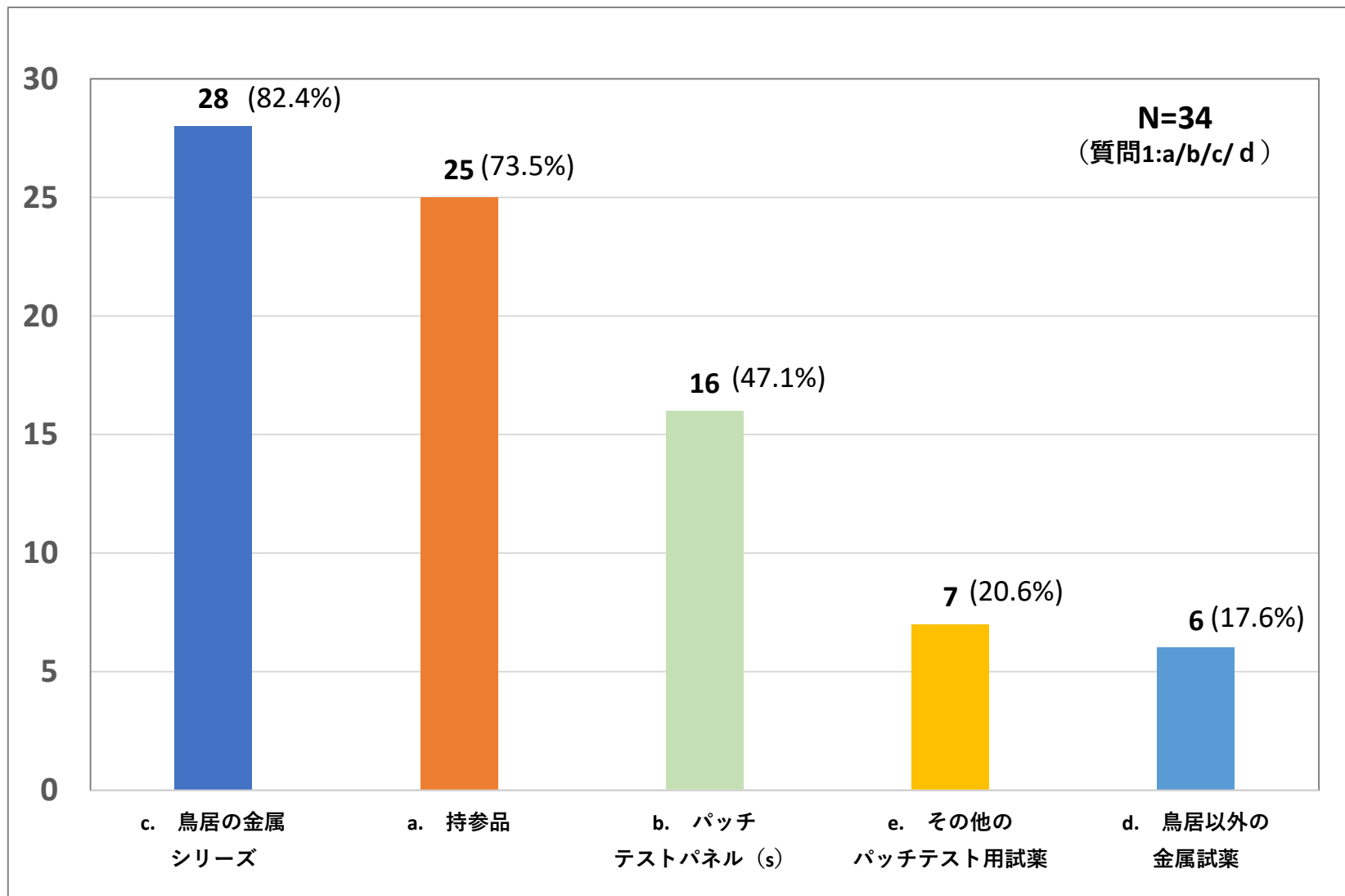
愛知県歯科・皮膚科連携ワークショップ アンケート調査

愛知県皮膚科医師対象
回答数：51

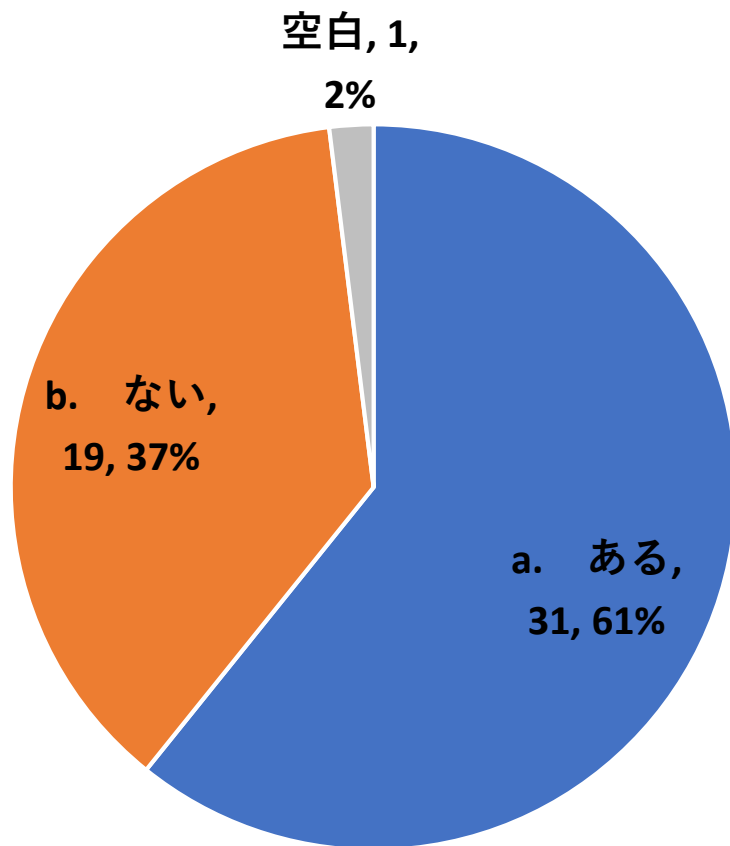
質問1. 現在、パッチテストはどの程度行っていますか。



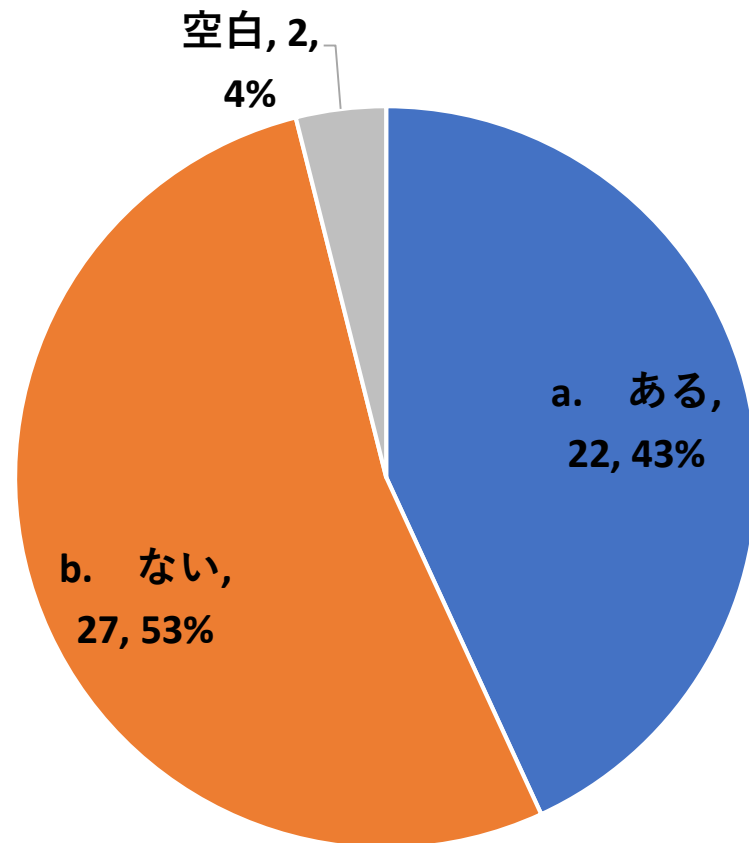
質問2. 質問.1の回答が、bからfの先生にお聞きします。
パッチテストを行なっているものを選んでください。(複数回答可)



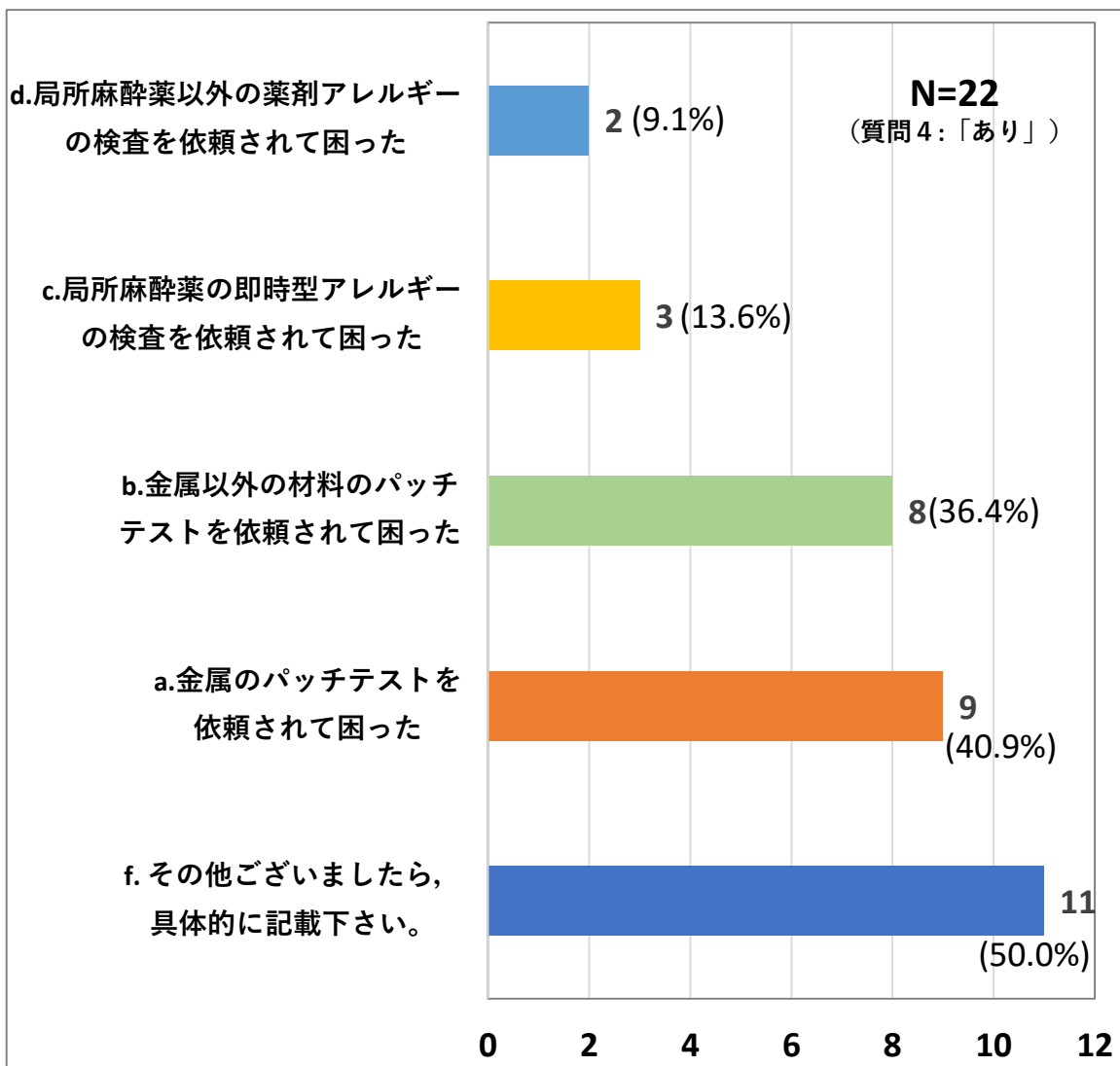
質問3. 歯科の先生からパッチテストの依頼がありますか。



質問4. 歯科との連携で困った経験はありますか。

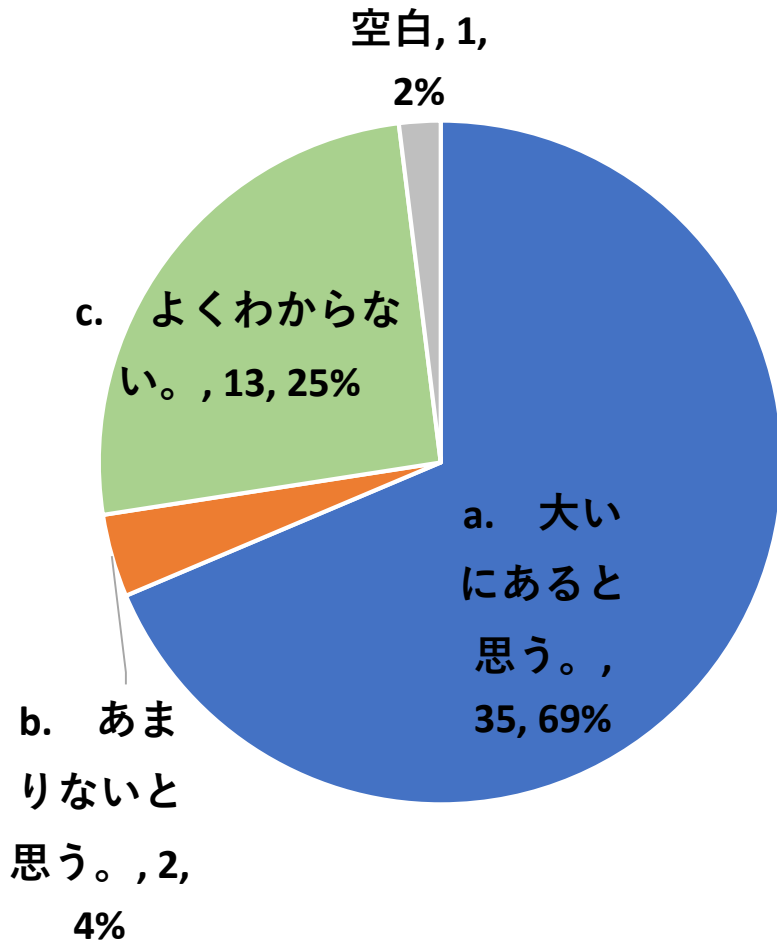


質問5. 質問4で[a. ある]と答えた場合、どのような内容でしたか。(複数回答可)

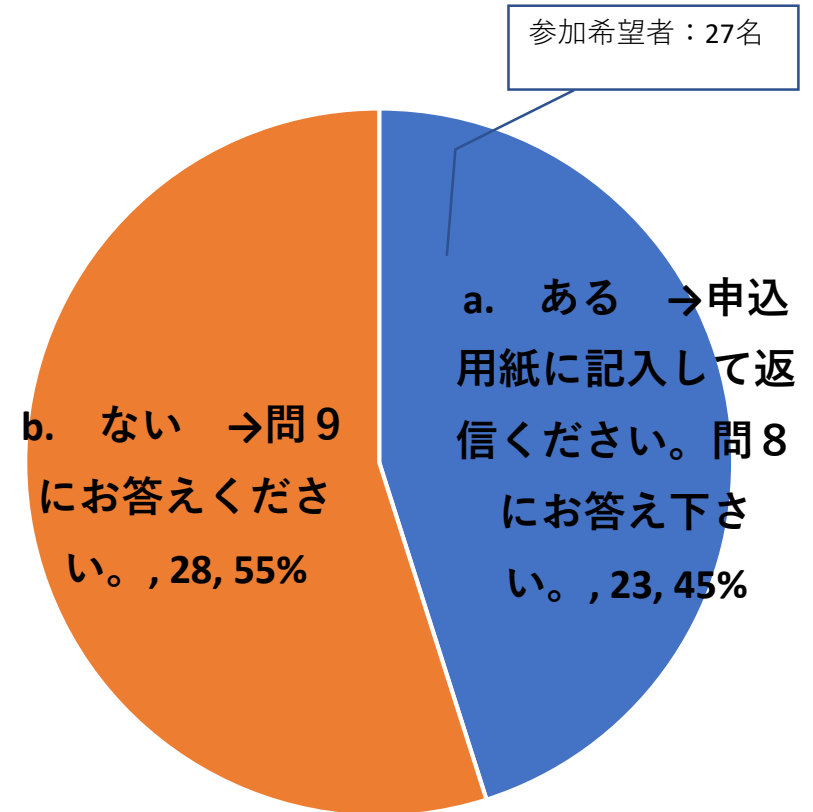


f(自由記載)
PTがアクセサリーでかぶれたという申告のみで依頼された。実際治療に使う金属を具体的に示して欲しい。
使用方法の不明な香料を患者さんに渡された
パッチテストの実際の方法や意義をよくわからずに依頼される先生が少なからずいらっしゃる
金属アレルギーの治療をどこの歯科でして下さるかわからない
金属アレルギーが使用制限切れになっていて求めに応じられない事がありました
情報提供書がなく、患者が「歯科に行っているいろいろ話したら、とりあえず金属アレルギーやいろいろ調べてくださいと言われた」と言うとき、歯科でどのような検査を希望されているのかが分からない
どなたに紹介すべきか、歯科医師ネットワークがない
パッチテストをやればセラミックの歯が保険で入れる事ができると歯科で言われたと受診
金属アレルギーの既往もないのに依頼された
一人ずつ用の歯科金属パッチテストパネルができると嬉しいです
患者さんは保険適応だと思って来院された

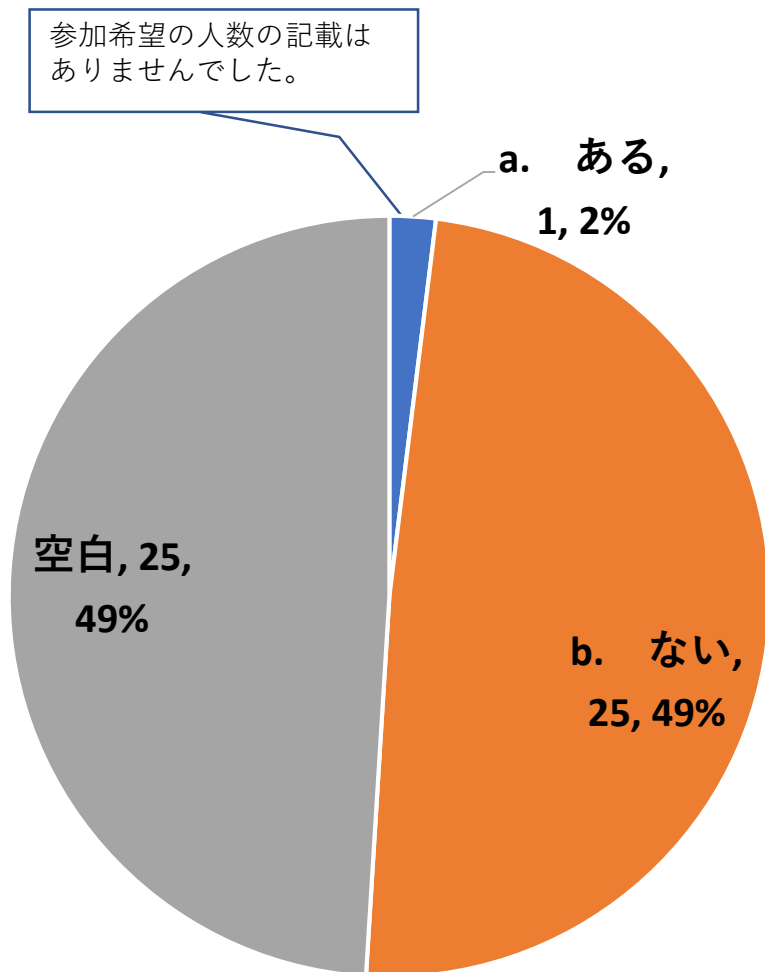
質問6. 歯科の先生と皮膚科の先生が直接会って情報交換することは意味があると思いますか。



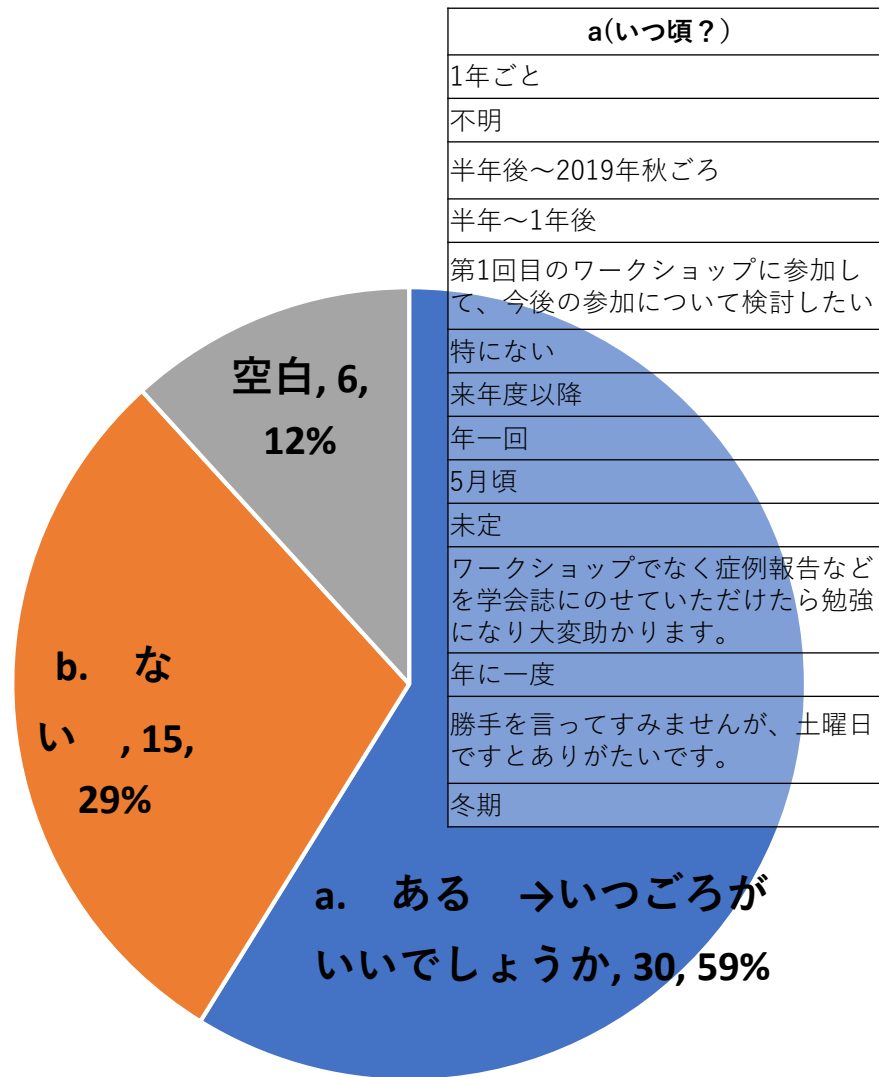
質問7. 第1回愛知県歯科・皮膚科連携ワークショップ参加希望ありますか。



質問8. 一緒に看護師さんも参加の希望がありますか。



質問9. 今後、このようなワークショップをする場合に、参加の希望がありますか。



そのほか、歯科との連携においてご意見がありましたら下記にご記入下さい。

ご意見

2019年4月以降、体制が整い次第パッチテスト・プリックテストを行いたいと思っています。骨粗鬆症薬による顎骨壊死に關与する薬劑を愛知県歯科医師会としてはどのように休業等考えられているか知りたいです。

現在、歯に使用している材料の情報があると有難い

一般的によく使う原材料について知りたい

看護師の参加について；今回はありませんが、今後このような機会があれば参加希望したいと思います。

質問9の理由：当院は、口腔外科の先生に直接伺う事ができる為

掌蹠膿疱症や汗疱において、歯科金属の除去がどの程度有効であるのかについて意見を交換したい
(そのような依頼があった時に歯科としてどう感じるのかetc)

実際、歯科治療に利用する金属・資材の（粉状にした）パッチテストを愛知学院歯学部附属病院で行っていたと伺いました。現在行わなくなったとの事で、再開していただけると歯科開業医との連携がとりやすいのではないかと思います。

今まで近くの専門施設（藤田医科大学・刈谷豊田総合病院）に全て紹介していて、その方がもれなくしっかり診ていただけたらと思って、全く行っていませんでした。